

5/24作業部会の後に寄せられた委員指摘事項

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
1	中村委員	(3)財政計画の概要	物件費	15	市民からの意見、渡邊副委員長を交えた議論、さらに説明の合理性を考えると、物件費の突出という事実は指摘するべきと判断しました。そうでなければ、これだけ豊かな財政がどこに使われているのか、解らない。 その対応については、8. 施策の体系(6)行・財政、基本施策4「社会の変化に対応していく行財政運営」にて、書き込むべきと考えます。 「また、義務的経費外である物件費については、他市に比べて大きくなっており、その内訳をみると、委託費が膨らんでいる状態にある。」を追記したい。
2	渡邊委員	重点施策(1)	少子高齢社会への挑戦	23	議論を踏まえ、下記の通り修正したい。 「不足する公共サービスの」→「公共サービスの担い手が不足していることから新たな」
3	栗原委員	重点施策(5)	三駅周辺	28	なぜ駅周辺を「選択と集中」しているのか不明。まちの文化は駅周辺だけで形作られているものでもなく、個性的な店舗や空間も駅から離れたところにあるものも多い。また、駅から離れたエリアの活性化を課題としていないことも問題ではないかと思う。駅周辺のまちの課題を含め、駅圏の魅力や価値を高めることを目指すべきではないか。→P28 修正
4	渡邊委員	(2)武蔵野市ならではの互助・共助の取り組み	シニア支え合いポイント	31	「65歳以上を前提に」とあるが、若年世代への導入を求める意見はかなり多いので、「前提としつつ」くらいに少しだけニュアンスを後退できないでしょうか。 ただし、今回の計画案に間に合わなくてもかまいません。
5	栗原委員	(6)見守り・孤立防止の推進	メンタルヘルス	34	「見守り・孤立防止」の所の前半に書かれているのは、主に(単身)高齢者のことであり、こころの病を抱える人のことは2段落目に書かれている(と読める)。こころの病に対する対策は5長・調にあるように「早期発見・早期対応」「意識向上や知識の普及」に加えて、「地域で支える体制の整備」「教育における取り組み」が重要だと考える。→P34 項目をたてて加筆 また、5期の間に「わくらす」やグループホームの開設があり、地域で支えていく体制を整えてきていることを「評価」として記載してはどうか。→P10 加筆
6	渡邊委員	(6)見守り・孤立防止の推進	メンタルヘルス	34	栗原委員の指摘にあるように、メンタルヘルスは重要であり、かつ、これを見守り・孤立防止に含むとするのはやや飛躍があります。 項目を分けるほどではないと思いますので、タイトルを以下のようにしてはどうでしょうか。 「見守り・孤立防止とメンタルヘルス対策の推進」
7	栗原委員	(3)地域子ども館事業の充実	学童クラブ	37	討議要綱では「4年生以上の受け入れを検討する」とあるが、計画案では「学校長期休業中の一時育成事業」となっており、特別の議論のないまま、内容が後退している。→P37 修正

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
8	渡邊委員	(1)まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進	まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業	38	「分野の枠を越えて推進する」とあるが、よくよく読んでみると、何についての「分野」なのかややわかりにくく感じました。最終の計画でより分かりやすくできればと思います。
9	渡邊委員	(2)保育人材等の確保と育成	児童虐待・養育困難家庭	38	「相談対応件数が増加し続けており、」を追記。 相談員の育成の必要性は、需要増による影響(相談員が抱える件数が増加している)も背景として書いておいたほうが良いと思います。 困難化、複雑化しただけでなく、虐待に対する認識が広がったことで、相談が増えるようになったことによる影響もあるためです。
10	渡邊委員	(5)一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	インクルーシブ教育	39	「」の表現を追記 ・議論も多いところですので、あえてこう書いてはどうでしょうか。 →インクルーシブ教育システムの「 障害の有無に関わらず共に学ぶ という」理念を追求 ・また、この一言も入れておいたほうが良いでしょう。従来から「推進する」としており、同じとみられてしまいます。 →相互の交流及び共同学習を「 積極的に 」推進する必要がある。 ・前回の議論を聞いた限りでは、学校への支援だけでは学校という組織への支援だけに見えるので、教員個人への支援の強化も含めることを明示するために、「学校、教員への支援」としました。 →そのための情報発信や学校「 教員 」への支援を強化する。
11	栗原委員	(6)不登校対策の推進と教育相談の充実	不登校	39	最近の新聞報道で『学校に行く』以外の選択肢が、物理的にも人の意識の面でもほとんど存在しない(ことが問題)。学びの選択肢を増やすためには、フリースクールへの公的な財政支援や『通学だけが学びではない』というより一層の社会の啓発が求められている。」という『不登校新聞』編集長のコメントがあった。このような認識を踏まえて、不登校対策は、発言する機会の少ない不登校当事者や家族から実態とニーズを聞き取る形で調査して、その上で検討されるべきだと思う。→P39 加筆
12	栗原委員	(3)学校と地域との協働体制の充実	学校と地域の連携	40	設けられたばかりの「地域コーディネーター」については、「負担を軽減」するのが適切かどうか分からない。むしろ、「目標を共有して、地域コーディネーターを核として『連携・協働』する体制へ発展させる…」としては?→P40修正
13	栗原委員	(3)関係機関との連携による応急対応力の強化	防災一子保護	43	防災のところに、発災時の子ども・児童・生徒の保護について記載がないが、重要なことだと思う。→P43 加筆
14	久留委員	(4)市の応急活動体制の整備	情報提供	44	災害対策のところに情報伝達のことに加えられたが、健康危機管理のところとテロ対策のほうにも「緊急時に正しい情報を市民に伝達する」ことの必要性を書くべきではないか。対策としてはアプリの活用などになると思うので、書くのは行財政の情報提供のところでしょうか。

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
15	栗原委員	基本施策4 地域社会と市民活動の活性化	協働	44	五長調や討議要綱では「これからのコミュニティ」の議論を踏まえて取り組みを進める、と書かれていたが、計画案からはそれが抜けている。そして、「これからのコミュニティ」P12～13には、「行政の役割」として、必ずしも「支援」ではなく、「対等な立場での協働」の重要性が強調されている。コミュニティ施策は「これからのコミュニティ」の提言を受けて「協働」をベースに進める、ということを書くべきではないか。P44 加筆
16	渡邊委員	(1)市民同士の語らいや連携による豊かな地域社会の進展	市民同士の語らい	45	「行政による支援策」→「コミュニティの要望を踏まえた行政による支援策を検討する」 としてはどうでしょうか。行政が一律に支援するのではなく、要望を踏まえ支援する、という形は変えないということがよいと思います。
17	渡邊委員	(3)図書館サービスの充実	図書館	47	「市民サービス水準」→「市民へのサービス水準」 自然な表現に修正。 市民サービス水準とは言わないと思います。
18	渡邊委員	(3)図書館サービスの充実	図書館	47	インターネット接続環境の向上とは？ 図書館内の？でしょうか。それともWEBページ等でしょうか。双方でしょうか。良くわかりませんでした(計画案としての修正は不要です)。
19	渡邊委員	(4)国際スポーツ大会のレガシーを活かしたスポーツ振興	スポーツ広場	47	作業部会での議論を踏まえて修正 「武蔵境圏へのスポーツ広場として整備をする。」 →「武蔵境圏へのスポーツ広場としての整備を検討する。」
20	中村委員	(1)産業の振興	クリエイティブ産業	48	「コンテンツを含むクリエイティブ産業は、本市の特徴であり、魅力向上にもつながることから、その実態の把握と産業振興について検討していく。コンテンツ」を追記。 コンテンツは、ここで列挙された分野にとどまりますが、武蔵野市が有している産業潜在力は、服飾デザイン、和洋菓子、建築設計、演劇 関係のより大きな集合体での「クリエイターが街にいる」ことです。実際に、スローガン案のうち2つについても、クリエイティブが入っています。したがって、ミスリードをさせないために、より明確な記載としました。ただし、事務局指摘のとおり、追記列挙がかえって議論を狭めるおそれもあるため、「クリエイティブ産業」とのみ記載しました。 なお、私見ですが、アニメーションについては、20年前の武蔵野市であればポジションを取れると思いますが、賃金も地価も上昇し、さらに他市がこの産業の可能性を見出し、鉄道会社等タイアップした集中的なプロモーションを開始して久しい現状においては、かなり分の悪い戦略領域だと思います。 最後に、以上のような幅の広い議論を踏まえての産業振興策の絞り込みのためにも、設立予定の協議会には、コンテンツ産業関係者だけではなく、デザインのプロデューサーなど、人選への注力をお願いします。

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
21	渡邊委員	(1)産業の振興	クリエイティブ産業について	48	私はこの言葉(クリエイティブ産業)を入れてもよいと思います。 たしかに現在の「産業振興計画」に文言はありませんが、2023年に改定予定であることから、改定を見据えて長期計画で先に盛り込み、今後の個別計画策定に活かしてもらおうという考え方は当然ありえます。むしろ、6長策定後に1, 2年かけてしっかり準備していただき、「産業振興計画」の次期改定前くらいからこの言葉をもちいて発信を始め、次期改定で盛り込むという形であれば実務上もそこまで困らないかと思えます。
22	栗原委員	(2)環境美化の推進	喫煙対策・愛護動物	52	受動喫煙の課題は「環境美化」の課題ではなく、「健康」あるいは「市民生活」の課題ではないか。また、公園は全面禁煙ならば、そのことを明記・周知し、対策を強化する必要がある。→P52 記載移動 加筆 愛護動物についても、「環境問題」というより、「福祉」「教育」「防災」「市民生活」にまたがる課題である、とのパブコメであったと思う。→P52 記載移動(「市民生活」が適切か?) 加筆
23	栗原委員	(2)都市計画道路ネットワーク整備の推進	女子大通り	57	記載が丁寧になったことは良いと思うが、沿道の拡幅に反対している住民は納得できないだろうと思う。「立ち退きを迫られる」というのはそこで生活してきた人にとって非常に重いことであり、そのようなことについて、都が沿道住民に対しての説明もなく事業化し進めようとしていることにも問題を感じる。住民の言うように、これまで何十年も放置されてきた案件であれば、喫緊の課題ととらえることはできないのではないかと。 市としては、事業の課題は認識しつつ、都と住民とが対話のテーブルにつけるように取り組むのが良いのではないかと、一市民としては考えるが、どうだろうか? →P57 加筆修正
24	中村委員	基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	吉祥寺駅周辺	58	吉祥寺駅周辺のまちづくりに文言を追加するにあたって、基本施策6のリード文に「」内の文言を追加。 文化・商業をはじめ「 それぞれが有している個性的な 」地域の魅力「 に基づき 」を活かしながら、活力とにぎわいを創出する取り組みを推進していく。
25	中村委員	基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	吉祥寺駅周辺	58	「近時、激化する都市間競争の中、全国的にも突出した知名度と魅力度を備える吉祥寺をより成長させ、それぞれ違う個性と魅力を有する三鷹・武蔵境駅周辺と連携の上、武蔵野市全体での活力へとつなげていく戦略的重要度が増している。」を追記 価値判断を薄くして「事実」として整理しました。基本施策6のリード文は、これと整合を取る形で上記にあるとおり微修正しました。

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
26	渡邊委員	基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	吉祥寺駅周辺	58	個人的には、中村委員の原案(上記)であれば入れてよいかとも思います。しいて言えば「三鷹・武蔵境駅周辺と連携の上、」を「三鷹・武蔵境駅周辺のまちづくりとの相乗効果をはかり、」へと若干の修正を加えることで、少しだけトーンを落とすことができるかもしれません。
27		基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり	吉祥寺駅周辺	58	ウエストエリアの追記について
28	栗原委員	(2)市民参加の充実と情報共有の推進	情報共有について	60	今計画策定においても、行政の判断理由が示されなければ、なぜそのような判断になるのかわからない、ということもあった。市民参加を進めるためには、判断の結果だけでなく、判断の理由や判断に至るプロセスの情報についても、適宜共有される必要があると考える。→P60に加筆
29	栗原委員	(2)市民参加の充実と情報共有の推進	計画の評価	60	市民参加で作られる各種計画の進行管理、また、その計画の策定の仕方も含めた評価について市民参加で行う仕組みを作ることで、より一層の市民参加を進める。ちなみに、「男女平等推進」分野では、条例に基づいて市民参加の審議会が発足し、計画の実施・進行状況についての評価を行なっている。→P60 加筆
30	中村委員	(3)武蔵野市らしさの追求とシティプロモーションの推進	シティプロモーション	61	・タイトルに「武蔵野市らしさの追求と」を追加。 ・委員会での議論等を踏まえ、「シビックプライドの醸成」をテーマに追加記載したい。 <はじめ> 「市と市民、そして来街者の社会経済活動の活性化を通じた持続可能な発展の根幹を支えるのは、武蔵野市としての個性による魅力度と市民のシビックプライド(市への愛着)である。一方で、ICT等による情報の氾濫と選択肢の増加、他市での積極的な魅力度向上への取り組み、そして住民と来街者の増加等により、この本市個性による魅力度とシビックプライドの希薄化が進みつつあるおそれがある。従って、今まで住民と来街者により選ばれてきた本市の個性と魅力度をさらに磨き上げ、」 <最後> 「するなど、より能動的にシビックプライドの醸成に取り組んでいく。」
31	中村委員	(2)健全な財政運営を維持するための体制強化	財政運営	63	前述の4. 市政を取り巻く状況について(3)①の追記を受けての変更です。基本施策4(6)「財政援助出資団体の経営改革等の支援」も、メインとなる関係パートかと思いますが、委託先は、出資団体より大きな集合体かと思ひますし、現案が精一杯の記述と判断し、こちらにのみ追記したい。 「同時に、増大している外注費については、委託先選定と委託内容についてのガバナンスのあり方についても検討していく。」
32	渡邊委員	(6)財政援助出資団体の経営改革等の支援	財政援助出資団体	64	物件費の増加に関する議論を踏まえすと、 「これまでの成果を評価しつつ、市の委託費が増加し続けその重要性がより高まっていることを踏まえ、」と追記してはどうでしょうか。単なる経営改革ではなく、サービス提供主体としての重要性がさらに高まっている点を書いたほうが良いと思います。

No.	意見提出者	項目	テーマ	計画案 ver4 のページ	内容
33	栗原委員	(1)課題に的確に対応できる人材の確保と育成の強化	職員と地域のつながり	65	「対応方針」には「今後の検討課題」とあるが、「現状の業務量」の中で十分に組み立てていないので、課題として上がってきているのだと思う。今後、市民との協働を推進する上では、これまで以上に職員が地域とつながっていくことが求められているので、「職員と地域のつながりを増やし、協働の取り組みを進められるよう、職員体制も含めて検討を進める。」といった文言があった方が良いと思う。→P65 加筆
34	渡邊委員	長期財政シミュレーション	長期財政シミュレーション	74	「物件費についても、逡増していくことを想定している。」とあるが、これは、外部委託をより進めるということでしょうか？ やはり、作業部会後にお伝えしたように、外部委託自体は否定しませんし、市が直接サービス提供しなければならないとは思いますが、委託におけるガバナンス、統制のあり方が気になります。今後もこの体制を行うのであれば、より積極的なガバナンスの仕組みがないと、大きな問題が起きたときに対応できなくなる可能性があります。修正ではなくコメントですが、危機意識を共有しておきたいと思います。
35	松田委員	全般	外国人	42	在住外国人、という言い方を外国人市民、という言い方にできないか。外国人も市民であるという位置づけを明確にできる。